

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)

【公表番号】特表 2005-536230 (P2005-536230A)  
 【公表日】平成 17 年 12 月 2 日 (2005.12.2)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-047  
 【出願番号】特願 2004-549874 (P2004-549874)  
 【国際特許分類】

**C 1 2 N 15/09 (2006.01)**

**C 1 2 Q 1/68 (2006.01)**

【F I】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 Q 1/68 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)  
 【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

個体の免疫状態についての情報を得るためのインビトロでの方法であって、

(a) 1 つ以上の核酸を選択する工程であって、ここで該核酸の発現レベルが、該個体における造血速度またはそれらの変異経路に沿った造血細胞の分布に関連し、そしてまた該個体の免疫状態に関連する工程；および

(b) 該核酸の発現レベルを検出する工程、  
 を包含する、方法。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の方法であって、前記 1 つ以上の核酸が、配列番号 52、配列番号 67、配列番号 19、配列番号 39、配列番号 63、配列番号 26、配列番号 68、配列番号 13、配列番号 200 および配列番号 36 より選択されるヌクレオチド配列を含む、方法。

【請求項 3】

前記発現レベルが、前記 1 つ以上の核酸によって発現される RNA レベルを測定することによって決定される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記 1 つ以上の核酸によって発現される RNA レベルを検出する工程の前に、前記個体の血液から RNA を単離する工程、をさらに包含する、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

前記 RNA レベルが PCR によって検出される、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

前記 RNA レベルが、ハイブリダイゼーションによって検出される、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 7】

前記 RNA レベルが、オリゴヌクレオチドへのハイブリダイゼーションによって検出される、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 8】

前記オリゴヌクレオチドが、DNA、RNA、cDNA、PNA、ゲノム DNA、または

合成オリゴヌクレオチドを含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記免疫状態が、前記個体が器官移植片拒絶を経験しているかどうかを示す、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の方法であって、前記器官移植片が、心臓同種移植片、腎臓同種移植片、肝臓同種移植片、骨髄同種移植片、異種移植片、および人口器官移植片より選択される、方法。

【請求項 11】

前記免疫状態が、前記個体が心臓同種移植片拒絶を経験しているかどうかを示す、請求項 1 に記載の方法。